

横浜市×神奈川大学の共創による
児童向けデジタル技術活用ワークショップ
制作プロジェクト

2024/6/7

#4 プログラムデザインレビュー

参考：検討メンバー

MESH™

開発



神奈川大学 道用ゼミ & 社会連携センター



道用 大介准教授

道用ゼミ
学生のみなさん



田中 純平さん

共催

拡張



横浜市デジタル統括本部
デジタル・デザイン室



城内 雅弘



磯田 絵理香



湯山 力輝

サポート

開発
サポート

MESH™

ソニー MESHチーム



メンター 村田 華蓮



WS監修 萩原 丈博

全体
サポート



フロンテッジ <事務局>



烏橋 和也



金子 登志江

学生が主体となって開発したWSを

横浜市内のクラブ活動・学童で開催する

- 神奈川県 道用ゼミの学生
- ・キックオフ/WSテーマ設定
 - ・テーマ確定/WS設計
 - ・WS実施準備

↑ サポート（プロセス・参考資料等）

横浜市 & MESHチーム・フロンテッジ

8/3
@ナレッジコア

WS
(2h)

WS参加者
小学生+保護者
MAX80名程度
20組40名×2回

パッケージ化

WS
(35min)

WS
(35min)

WS
(35min)

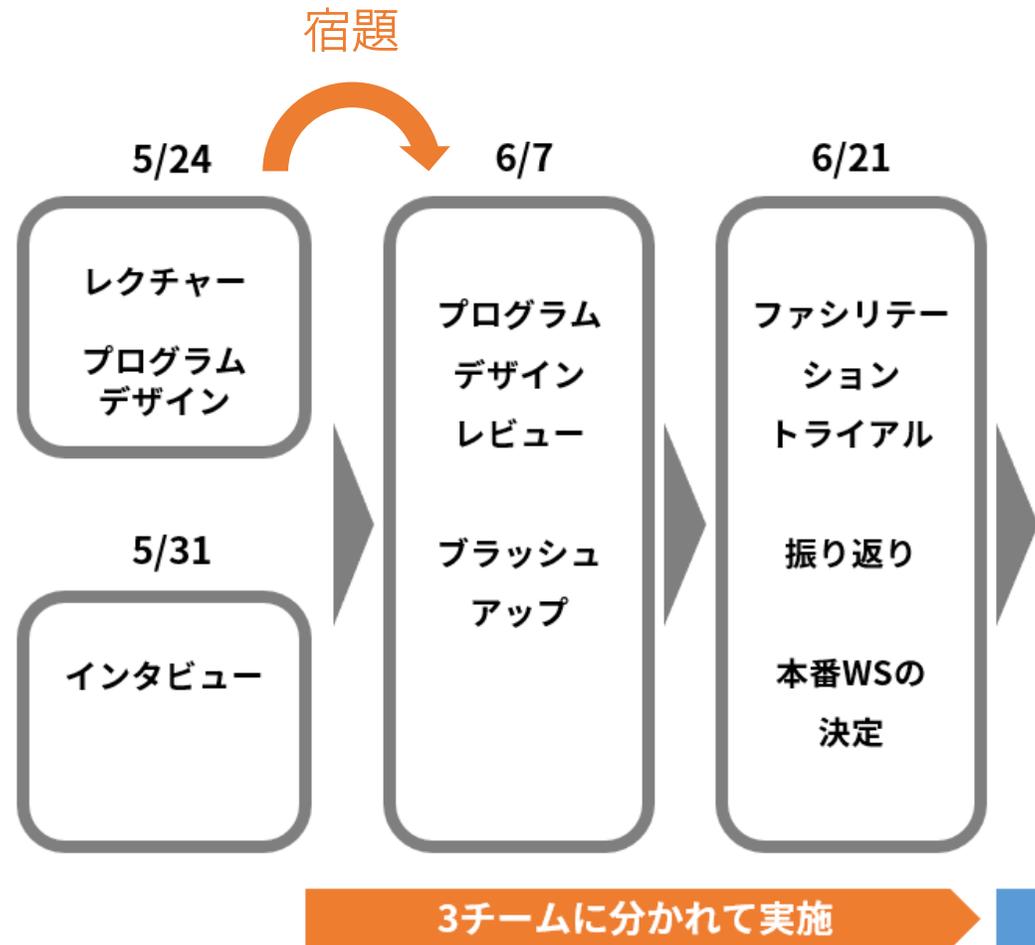
WS
(35min)

WS
(35min)

WS
(35min)

⋮





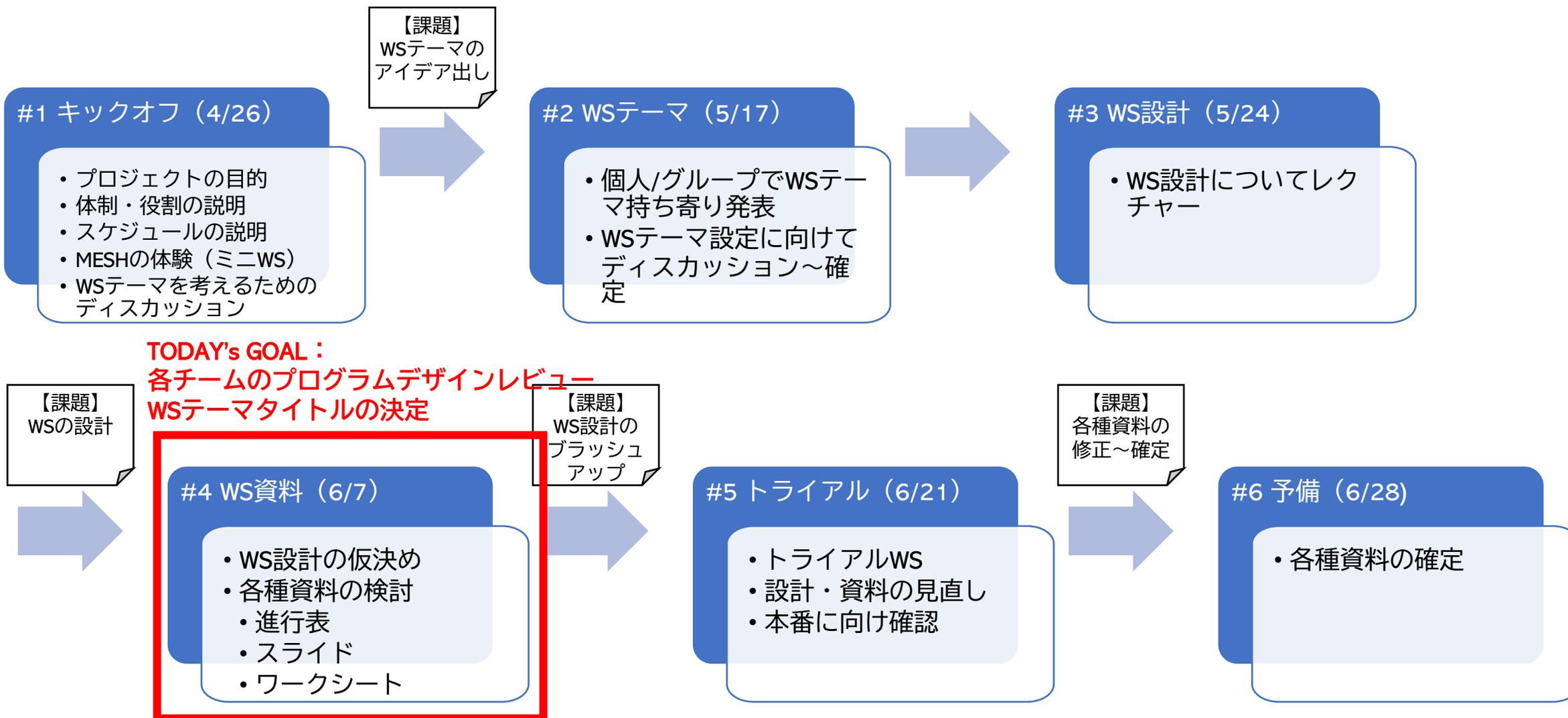
これから3チームに分かれて進みます。
(4~5名で1チーム)

各チームごとにワークショップの
プログラムデザインを実施してください。

6/7に「進行表」と「スライド（骨子）」を
発表していただきます。

横浜市の小学校の先生へインタビュー





1

鏡あわせ

2

形をつくって
パス

チームで考えてきたWSを共有しよう

進行表

スライド (骨子)

ワークショップ タイトル	子どもたちが本来持っている想像力と創造性を引き出す。現実世界をMESHでプログラミング!				
概要説明文	<p>子どもたちは、生まれながらにして、探求者であり発明家です。その無尽蔵な好奇心と創造性はまさに「人間らしさ」の象徴です。そんな子どもたちが持つ本来の創造性を刺激する、文房具のようなテクノロジーのツール「MESH」を使ってアイデアを形にしていくなかを一緒に体験しませんか? 子どもも大人も大歓迎です。</p> <p>このワークショップでは、ソニーの「MESH」を使います。「MESH」はプログラミングや電子工作の専門知識がなくても、身近なアイテムを生活を楽しむようなゆかいな発明に生まれ変わらせることができるツールです。その制作過程を通じて、身近なものへの視点が変わり、変えていく力が自分自身にあることに気づきます。「自分でもできる」「つくって楽しい」そういった自己効力感や創造性への気づきと、プログラミングなどのコンピュータテクノロジーとの付き合い方について、実際に手を動かしながら体験しましょう。</p> <p>わくわくする体験へ、ぜひご参加ください。</p>				
ワークショップの コンセプト	活動目標	身近なものをMESHを使ってパワーアップさせることで			
	学習目標	自分の可能性を広げる、手を動かすことの重要性			
	最終目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが本来持っている好奇心や想像力、Creativityをどう引き出して、「人間らしさ」を取り戻すのかについての新たな気づきを得る AI時代に唯一無二の「人間らしさ」をどう育てるか? 「人間らしい複雑性」に焦点を置き、それをどう開花させるか? を多様な視点から考える 			
時間	所要時間	活動内容	活動のねらい	留意点	必要な道具
10:00 ~ 10:05	0:05	自己紹介、イントロ	動機付け		・スライド ・プロジェクター
10:05 ~ 10:15	0:10	今日の趣旨につながる話	子どもの時に持っている好奇心や想像力を育ててきた過程でフタをしてしまう。そのフタをはずすことをしてきたことを紹介 (少年院の例など)	話を長くしすぎない。	・スライド ・プロジェクター
10:15 ~ 10:30	0:15	MESHの使い方	MESHがどういうものか知ってもらう	作業的にならないように、できるだけ教えずに行う。	・スライド ・プロジェクター ・MESH ・iPad
10:30 ~ 10:40	0:10	お題に対するディスカッション	MESHを知ったうえで、お題について		・付箋

学生が主体となって開発したWSを

横浜市内のクラブ活動・学童で開催する

- 神奈川県 道用ゼミの学生
- ・キックオフ/WSテーマ設定
 - ・テーマ確定/WS設計
 - ・WS実施準備

↑ サポート（プロセス・参考資料等）

横浜市 & MESHチーム・フロンテッジ

8/3
@ナレッジコア

WS
(2h)

WS参加者
小学生+保護者
MAX80名程度
20組40名×2回

パッケージ化

WS
(35min)

WS
(35min)

WS
(35min)

WS
(35min)

WS
(35min)

WS
(35min)



村田華蓮 (れんれん) 10:23

一点補足です。

ご兄弟が同じグループになる可能性は、一旦考えずに検討を進めていただきたいとのことです！

ですので、保護者+子どもの計2名1グループでのWSとして検討を進めてください。

宜しくお願いいたします！

(例) 20組の親子が参加の場合

20個のテーブルにそれぞれの親子が座り、各テーブルにMESHが1セットずつ配られていて、親子2名でそれぞれWSに取り組む。

考えてきたWSを共有しよう

- WSのコンセプト
- WSテーマタイトル
- WS概要
- WSの具体的な進行とスライド共有
- お悩みポイント

10分 発表

7分 質問・フィードバック

フィードバックマップ

名前：

ワークショップ
タイトル：

良かった点



改善できそうな点



メモ：このWSのお悩みや
気づきなど

わからなかった点



思いついたアイデア



考えてきたWSを共有しよう

- WSのコンセプト
- WSテーマタイトル
- WS概要
- WSの具体的な進行とスライド共有
- お悩みポイント

10分 発表

7分 質問・フィードバック

WSテーマタイトルの決定

参加無料

**新しい遊びを発明する
プログラミング
ワークショップ**

2024
8/3 土

午前部 10:00-12:00
午後部 14:00-16:00

開催場所 神奈川大学みなとみらいキャンパス
〒220-8739 横浜市西区みなとみらい4-5-3

定員 40組80名(午前・午後 各20組)
※お子さま1名につき保護者1名がご同席ください。
※応募多数の場合は抽選となります。ご了承ください。

参加対象 横浜市内在住の小学4-6年生と保護者
・ワークショップ終了後にアンケートにご協力いただける方
・横浜市の広報媒体等への写真掲載に同意いただける方

参加費 無料
(会場までの交通費は各自負担とさせていただきます。)

申込締切 2024/7/8 月

参加方法 参加ご希望の方は以下ホームページよりお申し込みください。
<https://digital.city.yokohama.lg.jp/dx-park/>
※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

主催 横浜市 City of Yokohama 共催 神奈川大学 Kanagawa University

学校から子どもたちに配る予定
配布方法

1. 横浜市から各学校にPDF送付
2. 各学校で印刷し、子どもたちにお渡し
(その他、子ども食堂など)

ターゲットは「子どもと保護者」

本日、赤枠のタイトルを決めます。

1) どんな人が？

2) 何を得られる？

3) どうやって？

(タイトルを考えるときの追加情報)

タイトルから1と2がイメージできるかが大事

考えてなんか楽しそうって思えたり、自分もやってみたいと思えたりする

自分との接点を感じられるタイトル

WSテーマの決定

「物語の世界を創り出そう！」

「遊びの天才になろう！MESHで広がる可能性と創造力」

「MESHで遊びの世界を広げよう！！」

「物語の世界を創り出そう！」（物語は外したい）

「遊びの天才になろう！MESHで広がる可能性と創造力」

「MESHで遊びの世界を広げよう！！」（プログラミングを入りたい）

「画面の外へ飛び出そう！工作×プログラミングワークショップ」

「遊びの天才になろう！工作×プログラミングワークショップ」 ← 決定！

「遊びの世界を広げよう！工作×プログラミングワークショップ」

「画面の外へ飛び出そう！プログラミングで遊びの天才に」

つなげてつくるプログラミング

指でつなげて、指一本で

遊びの天才になろう！
工作×プログラミング
ワークショップ

参加
無料

2024
8/3 土

午前部 10:00-12:00
午後部 14:00-16:00

開催場所 神奈川大学みなとみらいキャンパス
〒220-8739 横浜市西区みなとみらい4-5-3

定員 40組80名(午前・午後 各20組)
※お子さま1名につき保護者1名がご同席ください。
※応募多数の場合は抽選となります。ご了承ください。

参加対象 横浜市内在住の小学4-6年生と保護者
・ワークショップ終了後にアンケートにご協力いただける方
・横浜市の広報媒体等への写真掲載に同意いただける方

参加費 無料
(会場までの交通費は各自ご負担とさせていただきます。)

申込
締切 2024
7/8 月

参加
方法 参加ご希望の方は以下ホームページよりお申し込みください。
<https://digital.city.yokohama.lg.jp/dx-park/>
※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

主催 横浜市
City of Yokohama

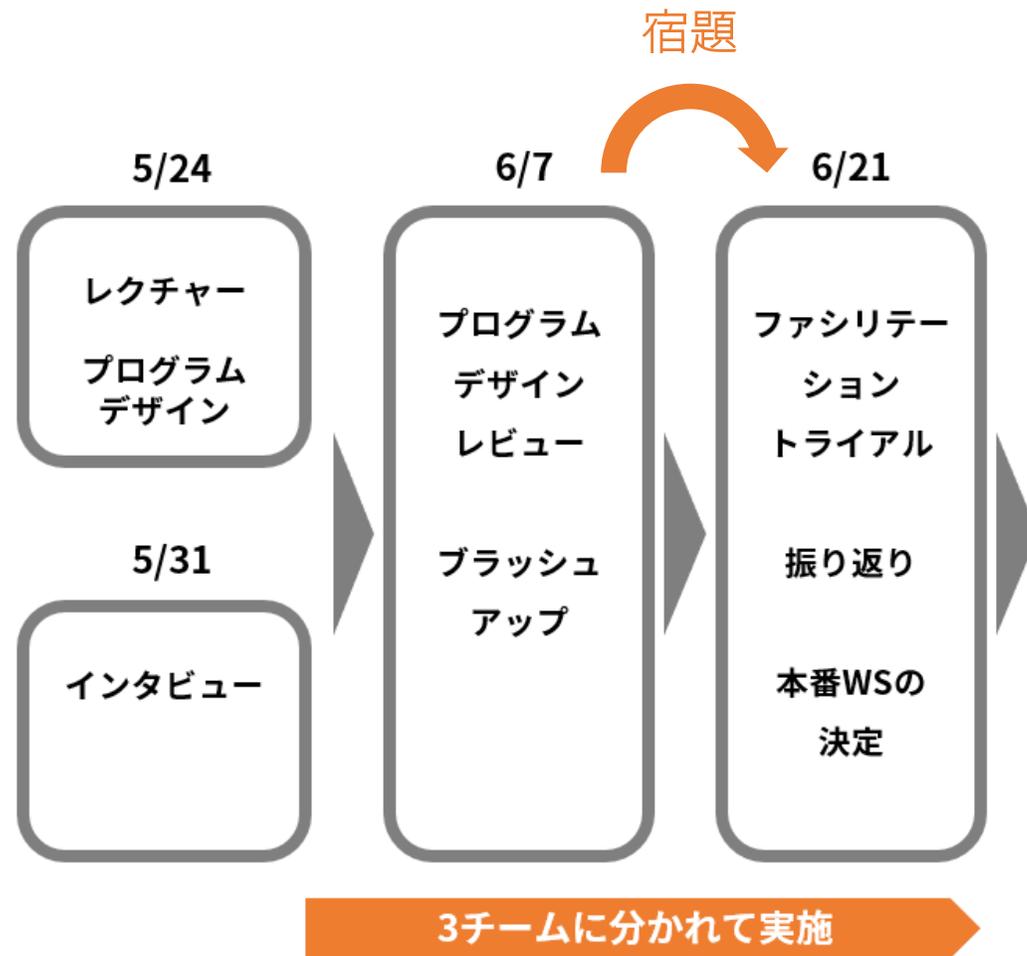
共催 神奈川大学
KU

学校から子どもたちに配る予定
配布方法

1. 横浜市から各学校にPDF送付
2. 各学校で印刷し、子どもたちにお渡し
(その他、子ども食堂など)

ターゲットは「子どもと保護者」

本日、赤枠のタイトルを決めます。



決まったWSタイトルをもとにして、
各チームごとにワークショップのプログラムデザインを
ブラッシュアップしてきてください。

6/21には実際にWSを実施していただきます。
この時は、作業時間は飛ばして、スライドを投影しながら
本番のようにファシリテーションをしていただきます。

- ワークショップで特に大事なポイントのトライ
- 役割分担
 - メインファシリテーター
 - サブファシリテーター
 - タイムキーパー
- 道具

- イラストなどを使う場合は、著作権や商標権に気をつけよう
- フリーの素材集
- <https://loosedrawing.com/>
- <https://unsplash.com/ja>
- <https://soco-st.com/>